

施策・基本事業評価表

作成日 平成 24 年 6 月 29 日

| | | | |
|---------|--------------------|-------|----------------------|
| 基本目標No. | 1 | 基本目標名 | にぎわい、活力あるまちづくり(活力部会) |
| 施策No. | 9 | 施策名 | 観光の振興 |
| 主管課名 | 商工観光課 | 主管課長名 | 武田 寛 |
| 関係課名 | 企画政策課、埋没林博物館、水族博物館 | | |

| | |
|-----------|--|
| 施策が目指すすがた | <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活かした観光振興により、多くの人が訪れ、にぎわっています。 ・広域的な観光連携が進み、外国からの観光客も増加しています。 ・観光客の増加により地元消費が生まれ、地域全体が活性化しています。 ・おもてなしの心で観光客を受け入れる体制が整っています。 |
|-----------|--|

| | | |
|-----------------------------------|-------|---|
| 施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など | 市・事業所 | <ul style="list-style-type: none"> ・来訪者に対し、おもてなしの心をもって接します。 ・観光行事に積極的に参加し、にぎわいのあるまちにします。 ・市民自ら地域の魅力を再発見し継承します。 ・市民自ら地域の魅力を全国に発信します。 |
| | 行政 | <ul style="list-style-type: none"> ・観光振興条例及び観光振興計画を策定し、地域活性化と広域的な観光を推進します。 ・関係機関との連携を図り、地域の情報の発信等に勤めます。 ・地域の観光資源開発を各種団体と共に進めます。 |
| | その他 | |

| | |
|--------------------|--|
| 施策の成果達成にあたっての現状と課題 | <p>観光は地域に大きな経済効果を生み出し、地域活性化を図るための重要な要素となっています。</p> <p>本市には多種多様な魅力ある地域資源があり、これらを十分に活用し、その魅力を全国に向けて効果的に情報発信することや、おもてなしの心で受け入れできる体制の整備・充実が求められています。</p> <p>また、北陸新幹線開業や高速バス網の充実を視野に入れ、広域観光連携を強化し、国際化に対応した整備をすることで、首都圏や外国からの観光客の誘致を促進する必要があります。</p> |
|--------------------|--|

| | | | |
|-------|---|-----|-------|
| 施策No. | 9 | 施策名 | 観光の振興 |
|-------|---|-----|-------|

| 基本事業名① | | 事業内容(活動内容) | | | | | | | | |
|--|----|--|--------------------|----------------|---------|---------|---------|---------|-------------|-------------|
| 観光資源のブランド力向上と整備 | | 市内の観光資源の連携活用で、ブランド力の向上を図り、観光客が再び訪れたいくなるような魅力ある魚津をつくり上げるための支援や整備を行います。 | | | | | | | | |
| ①に属する代表的な事務事業 | | 事業内容(活動内容) | | | | | | | | |
| 観光イベント支援事業 | | 各種観光イベントへの出展を支援します。 | | | | | | | | |
| みなとまちづくり事業 | | みなとオアシス魚津周辺の観光資源等を活用して地域振興を行う市民団体等に事業助成を行い、みなとまちの活性化を図ります。 | | | | | | | | |
| 歴史と文化が薫るまちづくり事業 | | 松倉城跡を始めとする市内城跡の解説板などの整備。また、それらを利用した観光コースなどの提案します。 | | | | | | | | |
| 基本事業①の目的【意図】 | | 市民の雇用機会拡大を図り雇用促進する。 | | | | | | | | |
| 成果指標名 | 単位 | 21年度実績 | 目標値(上段)及び実績値(下段) | | | | | | 27年度(中間目標値) | 32年度(最終目標値) |
| | | | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | | | |
| 観光客入込数 | 千人 | 1,614 | 1,600 1,464 | 1,650 1,409 | 1,700 | 1,750 | 1,800 | 1,900 | 2,150 | |
| 宿泊者数 | 千人 | 215 | 220 223 | 225 232 | 230 | 235 | 240 | 245 | 270 | |
| 基本事業名② | | 事業内容(活動内容) | | | | | | | | |
| 情報の活用と受け入れ体制の整備 | | 観光客への情報提供や首都圏を中心としたPR活動や、ホームページや観光ガイドなどの情報インフラの充実と、外国人対応などの総合案内機能を強化します。 | | | | | | | | |
| ②に属する代表的な事務事業 | | 事業内容(活動内容) | | | | | | | | |
| 観光・物産宣伝事業 | | 魚津市の観光情報の発信や特産品のPRを大都市圏などで行います。 | | | | | | | | |
| 受入体制整備事業 | | 観光客の受け入れ態勢や観光施設の整備などを進めます。 | | | | | | | | |
| コンベンション開催支援事業 | | コンベンション対象事業に対し、宿泊助成等を行います。 | | | | | | | | |
| 広域観光連携事業 | | 観光圏域での観光資源の相互利用などで、滞在時間を長くするための連携事業を行います。 | | | | | | | | |
| 国際観光ボランティア育成事業 | | 外国人への観光ボランティア対応を進めます。 | | | | | | | | |
| 基本事業②の目的【意図】 | | 観光客の受け入れ態勢や観光施設の整備などを進めます。 | | | | | | | | |
| 成果指標名 | 単位 | 21年度実績 | 目標値(上段)及び実績値(下段) | | | | | | 27年度(中間目標値) | 32年度(最終目標値) |
| | | | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | | | |
| 観光ボランティア人数 | 人 | 16 | 20 18 | 23 19 | 26 | 30 | 33 | 36 | 50 | |
| HPアクセス件数(旧) | 件 | 178,258 | 182,000 319,302 | 185,600 | 189,200 | 192,800 | 196,400 | 200,000 | 232,000 | |
| HPアクセス件数(新) | 件 | - | | 9,523 | 9,700 | 9,900 | 10,100 | 10,300 | 11,300 | |
| HPアクセス件数は、魚津市観光協会のHPリニューアルに伴い、アクセス件数の算定ソフトを変更したことによる | | | | | | | | | | |
| 基本事業名③ | | 事業内容(活動内容) | | | | | | | | |
| 広域観光ネットワークの振興 | | 広域観光圏での連携を強化し、魅力ある周遊ルートやモデルプランをつくり、滞在型観光を促進します。また、外国語パンフレットや案内標識などを整備し、国際化に対応したまちづくりで来訪者数の増加を図ります。 | | | | | | | | |
| ③に属する代表的な事務事業 | | 事業内容(活動内容) | | | | | | | | |
| 広域観光連携事業(再掲) | | | | | | | | | | |
| 国際観光推進事業 | | 宿泊施設が外国人対応出来る接客や案内表示などの整備推進します。 | | | | | | | | |
| 多言語案内標識等設置事業 | | 観光施設の案内看板の多言語対応を推進します。 | | | | | | | | |
| 外国語観光パンフレット作成事業 | | 観光施設のパンフレットの多言語対応を推進します。 | | | | | | | | |
| 国際観光ボランティア育成事業 | | | | | | | | | | |
| 基本事業③の目的【意図】 | | 観光客の受け入れ態勢や観光施設の整備などを進めます。 | | | | | | | | |
| 成果指標名 | 単位 | 21年度実績 | 目標値(上段)及び実績値(下段) | | | | | | 27年度(中間目標値) | 32年度(最終目標値) |
| | | | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | | | |
| 新川地域観光客入込数 | 千人 | 5,401 | 5,500 5,149 | 5,600 5,333 | 5,700 | 5,800 | 5,910 | 6,020 | 6,979 | |
| 新川地域内平均宿泊日数 | 日 | - | 1.52 | 1.57 | 1.63 | 1.69 | 1.75 | 1.79 | 2.07 | |
| 基本事業名④ | | 事業内容(活動内容) | | | | | | | | |
| ④に属する代表的な事務事業 | | 事業内容(活動内容) | | | | | | | | |
| 基本事業④の目的【意図】 | | | | | | | | | | |
| 成果指標名 | 単位 | 21年度実績 | 目標値(上段)及び実績値(下段) | | | | | | 27年度(中間目標値) | 32年度(最終目標値) |
| | | | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | | | |
| | | | | | | | | | | |

施策の成果達成にあたって優先的に取り組むべき主な取組み

| | | | |
|---|---|-----|-------|
| 施策No. | 9 | 施策名 | 観光の振興 |
| 23年度の 評価結果 (基本事業 の成果を考 慮し記載) | 1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景(近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること) | | |
| | ア. 成果水準の推移(成果水準がここ数年どのように推移しているかを中心に記述) ◆観光入込数は「天地人」効果のあった平成21年と比べ大きく減少している。さらに、東日本大震災の影響を受け、平成23年度はさらに減少しました。 ◆観光ボランティア人数は計画を若干下回っている。なお、観光協会ホームページをリニューアルした際、アクセス数の集計方法を変更したため、大きく減少しました。 ◆新川地域観光客入込数、平均宿泊日数は、調査中です。 | | |
| | イ. 近隣他市との比較(成果水準が近隣他市と比較してどうであるかを中心に記述) ◆新川地域の観光客入込数、宿泊者数は未確定です。 ◆観光ボランティア人数は他市も設立当初は若干増えるものの、経年により横ばい状態である。ホームページアクセス数は観光客の旅行形態が団体中心から個人客中心に変化し、ITの普及に伴いアクセス数は増加していると推測されるが、アクセス集計方法を変更したため、比較できません。 ◆広域観光としては、近隣他市と新川観光圏事業や新川地域観光推進協議会などで協力して観光の推進に取り組んでいます。各市町とは観光の情報や資源を共有し事業を進めて、広域観光連携により滞在型の観光の推進を目指します。 | | |
| | ウ. 住民期待水準との比較(成果水準が住民が期待していると思われる水準と比較してどうであるかを中心に記述) ◆観光の振興により地域の活性化を目標に進めているものの、観光への取り組みは個別に点で行われてきたことから、入込客数や宿泊者数が飛躍的な増には繋がっていないと推測されます。 ◆観光ボランティア人数も徐々に増えつつあるが、市民意識やボランティア環境などの普及整備が進んでいないことから若干遅れています。なお、観光協会ホームページのアクセス数は、集計方法を変更したため、比較できません。 | | |
| | 2. 施策の成果実績に結びついているこれまでの主な取り組み(事務事業)の総括 (ここ数年の間、施策及び基本事業の成果向上に貢献してきた主な事務事業の取組み内容を中心に記述) ◆いかわ観光圏事業が始まり、近隣他市町との観光連携により、観光基盤の整備が進みつつある。新川観光圏事業で整備された駅前観光案内所は、観光事業推進の拠点として多くの観光客が訪問されました。 ◆魚津市としても、観光振興計画の策定を進めており、観光を中心とした地域活性化に対する観光関連事業者の意識も高まっているものと考えます。 ◆IT化社会の進展により、個人で直接情報を収集する事が当たり前となっており、多くの方がホームページにアクセスしています。 | | |
| 3. 施策の課題認識及び24年度の取り組み状況(予定) (23年度末で残った課題、既に24年度に取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述) ◆観光圏事業により、広域での情報の共有や観光資源の共有が進められつつあるが、観光客の受け入れ態勢の整備が課題であり、市単独での研修会や広域での慣習がより一層必要になっています。 ◆観光協会の役割も大きくなってきているが、事業母体が商工会議所依存から独立しての事業展開に向けて、人的・財政的な強化が必要であり、行政と各種団体及び観光関連事業者の果たす役割の明確化が必要である。また、駅前観光案内所をいかに活用して行くかも大きな課題です。 ◆地域資源と人材を活かした観光の推進と情報の収集及び発信が観光の推進に於ける重要な課題であり、今年度策定した観光振興条例を基に観光振興計画の策定が至急の課題です。 | | | |

| | | | |
|---|----------|-----|--|
| 部会評価 (協議結果、 今後の方針 及び課題等 について記 載) | ※施策の重要度※ | 最重点 | ◆総合計画に掲げた交流人口15,000人を達成するためには、観光客の増加を図らなければならない。このためには、観光案内・受け入れ基盤の充実が重要であり、併せて広域観光の推進と観光客への情報発信に力を入れる必要があります。 |
|---|----------|-----|--|

| | |
|---------------------------------|---|
| 経営戦略会 議における 施策の課題 及び方針 | <ul style="list-style-type: none"> 観光客の増加を図るため、受入体制基盤の整備を進めるとともに、広域連携による観光の推進と情報発信を行います。 食の魅力のアピールするとともに、着地型旅行商品の開発に取り組みます。 |
|---------------------------------|---|